

## 豊橋市安全で安心なまちづくり審議会

日時：令和7年10月7日（火）

午後2時～

場所：豊橋市役所8階 東86会議室

1 あいさつ

2 議題

（1）正副会長の選出について

（2）第7次安全で安心なまちづくり行動計画の策定について（骨子（案））

3 その他

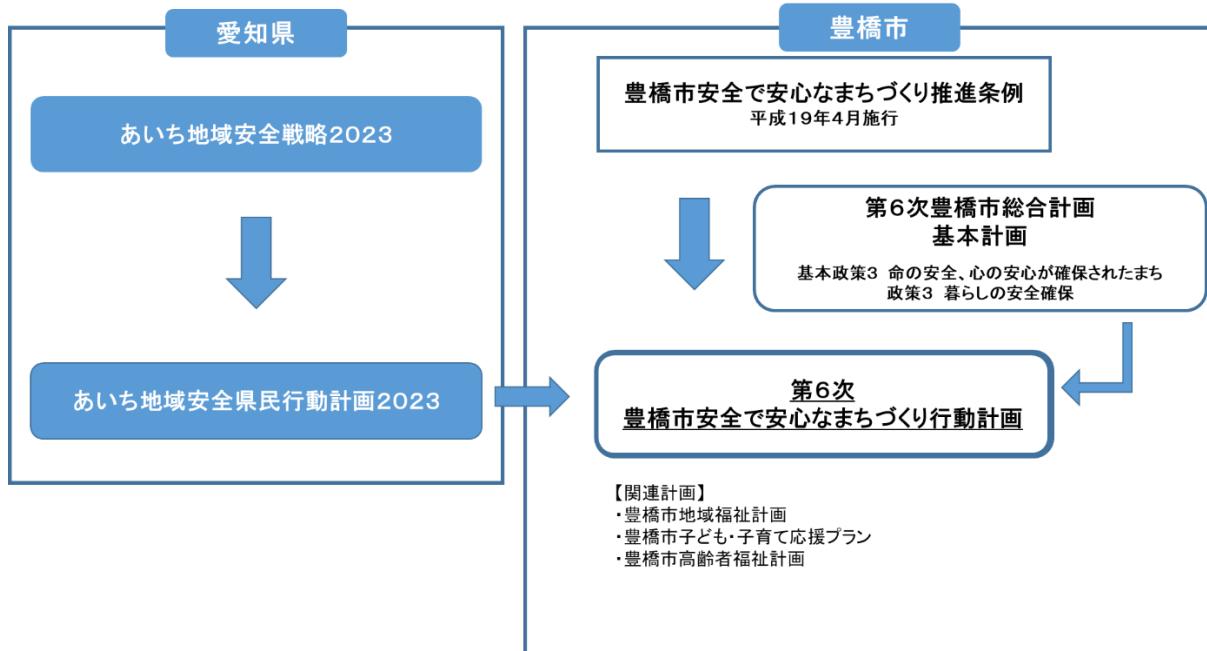
## 第7次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画策定にむけて

### ①「安全で安心なまちづくり行動計画」策定の経緯

安全なまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に実施するために、「安全で安心なまちづくりに関する行動計画」を豊橋市安全で安心なまちづくり推進条例に位置づけ、3年毎に目標値を定め、各施策を推進し、犯罪の抑止に取り組んできました。今回、現行の第6次行動計画期間が終了することから、第7次行動計画として、新たな地域防犯行動計画を策定するものです。

### ②第6次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画について

#### 1 「第6次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画」の位置づけ



#### 2 基本方針

犯罪は、いつどこで誰が巻き込まれるかわかりません。誰もが、犯罪に遭うことなく、安心して生活できるまちにするために、行動計画における基本方針を以下のように定めました。

**誰もが安心して暮らせる犯罪のないまち「とよはし」**

#### 3 計画の2つの目標の進捗状況（最終年度 令和7年度）

- ① 市内の刑法犯罪発生件数を年間1,600件以下にすること
- ② 無施錠による盗難被害件数及び盗難被害件数に占める無施錠率を250件、55%以下にすること

## ■計画期間の目標に対する実績値(1~12月の数値)

①市内の刑法犯罪発生件数を年間1, 600件以下にすること

令和5年	令和6年	令和7年
1, 892件	1, 886件	1, 208件 (8月末時点)

②無施錠による盗難被害件数及び盗難被害件数に占める無施錠率を250件、55%以下にすること

令和5年	令和6年	令和7年
無施錠盗難被害:427件 無施錠率:66. 9%	無施錠盗難被害:441件 無施錠率:62. 7%	無施錠盗難被害:239件 無施錠率:69. 3% (8月末時点)

## 4 計画の基本となる3つの柱 計画期間の各事業実施状況

- (1) 自分の身は自分で守る
- (2) 子どもを守る
- (3) 高齢者を守る

### (1) 自分の身は自分で守る

市民一人ひとりが自主防犯意識を高め、また地域住民自ら地域防犯力を高めることで、自分の身は自分で守るまち「とよはし」を目指します。

1 無施錠被害削減キャンペーンの実施	実施状況	○
「鍵のかけ忘れによる被害」を広く周知するイベントや啓発活動を実施するほか、被害の多い「自転車盗」対策のための駅前駐輪場を中心に防犯パトロールを実施します。また、小・中・高等学校の協力を得ながら、自転車利用の多い学生向けに特化した啓発活動を実施していきます。		
【実施機関等】豊橋市、豊橋警察署、小・中・高等学校		

2 特徴のあるデザインのポスター等での防犯啓発	実施状況	○
共同住宅や駅前駐輪場を中心に、窃盗が多発するエリアや犯罪発生リスクの高い箇所に対して、思わず“二度見“してしまうようなデザインのポスターを掲示するなど、より注目を集め、多くの人に防犯の意識付けをしていきます。		
【実施機関等】豊橋市、豊橋警察署、豊橋市防犯協会連合会		

<b>3 防犯対策モデル校区の推進</b>	実施状況	○
防犯対策の先進的な取り組みを試みるために「モデル校区」を選定し、警察、自治会、行政、事業者などが一 体となって企画立案し実施します。また、結果などを分析することで、既存の事業にとらわれない効果的な防 犯対策を推進していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、自治会、市内大学法人等		

<b>4 「参加したくなる」防犯教育講座</b>	実施状況	○
児童から高齢者まで、それぞれの年代にわかりやすく解説する内容にするほか、笑いやゲームなどを取り入れることで、多くの人が“参加したくなる”講座を増やしていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、小・中・高等学校		

<b>5 効果的な防犯情報の発信</b>	実施状況	○
様々な年代に適した発信方法として、例えば、若年層向けにはSNSや動画配信サイトなど、高齢者向けには新聞やラジオなどといった親しみのあるコンテンツを調査し、活用します。また、犯罪発生状況のみでなく、それぞの対策なども加えることで、犯罪を未然に防ぐための有力な情報として発信していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署		

<b>6 四季の安全なまちづくり市民運動</b>	実施状況	○
春、夏、秋、そして年末と、それぞれの季節に警察や防犯協会などと連携しながら、各種防犯キャンペーンを実施していきます。		
【実施機関等】 豊橋警察署、豊橋市防犯協会連合会		

<b>7 サイバー犯罪対策の周知強化</b>	実施状況	○
フィッシング詐欺やサイバー脅迫などのサイバー犯罪のほか、SNSを起因とする人間関係のトラブルや、児童買春などの犯罪に巻き込まれないための対策を既存の防犯教室などのカリキュラムに盛り込むほか、動画配信サイトやSNSなどのコンテンツを活用し、幅広く周知していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、小・中・高等学校、市内各学校法人		

<b>8 自主防犯活動への支援</b>	実施状況	○
自主防犯活動に必要となる装備品を提供していくほか、多くの市民ができる範囲で無理なく継続して活動に参加できるように、参加へのハードルを下げる、楽しく参加できるなどの方法を検討し実施していきます。また、こども見守り隊や青パト隊の活動を知らない市民も多くいるため、活動内容のPRや活動を讃える式典の実施など、広く周知していくことで存在意義を高め、活動を盛り上げてきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、豊橋市防犯協会連合会		

<b>9 “ながら” 防犯パトロールの推進</b>	実施状況	○
ウォーキングやランニング時に防犯啓発グッズを身に着けることで、地域の防犯パトロールを兼ねることができる「ながら防犯パトロール」の活動を市民に浸透させ、誰でも気軽に無理なく参加できる防犯活動として継続できるよう、デザインにこだわった配布グッズの作成や、参加したくなるイベント企画などを推進していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、豊橋市防犯協会連合会		

<b>10 防犯診断士の活用</b>	実施状況	○
犯罪発生の多い校区を中心に、まちの防犯対策のプロである「防犯診断士」による防犯診断を実施し、効果的な防犯カメラの設置方法や犯罪発生リスクの高い箇所の指摘など、まちの防犯力の向上を推進していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、自治会、豊橋警察署		

<b>11 防犯カメラ設置費補助</b>	実施状況	○
自治会や発展会が設置する防犯カメラの購入費に対して補助するほか、効果的な設置場所の提案などを行い、設置台数を増やす取組みを進めています。		
【実施機関等】 豊橋市、自治会、豊橋警察署		

<b>12 防犯灯設置費・維持費補助</b>	実施状況	○
自治会の管理する防犯灯の設置や更新のための費用及び維持費に対する補助を継続し、夜間でも安心して通れる道を増やしていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、自治会、豊橋警察署		

<b>13 青パト隊結成促進</b>	実施状況	○
自主防犯活動の中でも犯罪の抑止力として効果が大きい「青パト隊」を、より多くの校区で結成できるよう、サポート体制の充実や活動内容のPRを積極的におこない、地域の防犯意識の向上を図ります。		
【実施機関等】 豊橋市、自治会、豊橋警察署		

<b>14 効果的な防犯パトロールの実施</b>	実施状況	○
市の職員によるパトロールを実施するにあたり、犯罪の発生状況をしっかり分析し、「発生場所」「発生時間帯」などを考慮したパトロール計画を策定するほか、状況に応じて柔軟かつ迅速に対応できるような体制を構築していきます。また、自治会などの自主防犯団体による防犯パトロールに関しても、無理なく効果的なものとなるよう、警察や防犯診断士などの意見を基に、市としてアドバイスしていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、自治会、豊橋警察署		

<b>15 気軽な相談体制の構築</b>	実施状況	○
何か不安を感じた時にすぐに相談できる相手として、市の安全生活課や東三河広域連合消費生活課などを広く周知することで、被害を未然に防ぐ施策を強化します。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、東三河広域連合		

## (2) 子どもを守る

子どもが犯罪に遭わない、犯罪に巻き込まれない環境づくりを行い、子どもが健やかに成長できるまち「とよはし」を目指します。

1 防犯初等教育に係る教室やイベントの充実	実施状況	○
市内の各園や小・中学校に通う全ての児童・生徒に対して、「知らない人についていかない」といった内容の防犯教室を開催するほか、イベントなどを通じて、通園・通学していない子どもに対しても防犯教育を実施していきます。		

【実施機関等】豊橋市、豊橋市防犯協会連合会、小・中・高等学校

2 効果的な防犯情報の発信【再掲】	実施状況	○
様々な年代に適した発信方法として、例えば、若年層向けにはSNSや動画配信サイトなど、高齢者向けには新聞やラジオなどといった親しみのあるコンテンツを調査し、活用します。また、犯罪発生状況のみでなく、それぞれの対策なども加えることで、犯罪を未然に防ぐための有力な情報として発信していきます。		

【実施機関等】豊橋市、豊橋警察署

3 防犯カメラ設置費補助【再掲】	実施状況	○
自治会や発展会が設置する防犯カメラの購入費に対して補助するほか、効果的な設置場所の提案などを行い、設置台数を増やす取組みを進めていきます。		

【実施機関等】豊橋市、自治会、豊橋警察署

4 防犯灯設置費・維持費補助【再掲】	実施状況	○
自治会の管理する防犯灯の設置や更新のための費用及び維持費に対する補助を継続し、夜間でも安心して通れる道を増やしていきます。		

【実施機関等】豊橋市、自治会、豊橋警察署

5 効果的な防犯パトロールの実施【再掲】	実施状況	○
市の職員によるパトロールを実施するにあたり、犯罪の発生状況をしっかり分析し、「発生場所」「発生時間帯」などを考慮したパトロール計画を策定するほか、状況に応じて柔軟かつ迅速に対応できるような体制を構築していきます。また、自治会などの自主防犯団体による防犯パトロールに関しても、無理なく効果的なものとなるよう、警察や防犯診断士などの意見を基に、市としてアドバイスしていきます。		

【実施機関等】豊橋市、自治会、豊橋警察署

<b>6 児童虐待防止に向けての啓発活動の充実</b>	実施状況	○
児童虐待から子どもを守るため、関係機関と連携を強化していくとともに、相談や通報場所を幅広く周知し、未然防止や早期発見できるよう推進していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、小・中・高等学校、東三河児童・障害者相談センター		

<b>7 薬物乱用防止教育及び啓発の充実</b>	実施状況	○
薬物の危険性を教える教室を市内中高生向けに開催し、安易な気持ちで手を出さないよう啓発していくとともに、関係機関と連携し、薬物乱用防止キャンペーンなどを実施していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署		

<b>8 犯罪加害者にならないための教育</b>	実施状況	○
罪を犯すことの重大さや、なぜ犯罪はいけないのかなどを警察や小・中・高等学校と協力しながら周知し、加害者となってしまう若年層を減少させていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、小・中・高等学校		

<b>9 非行防止活動等の充実</b>	実施状況	○
万引きや深夜徘徊などの非行を防止するために、関係機関と連携して啓発キャンペーン等を実施していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、小・中・高等学校		

### (3) 高齢者を守る

高齢者の貴重な財産を守り、また地域の輪を広げることで高齢者が安心して生活できるまち「とよはし」を目指します。

1 特殊詐欺対策装置購入費補助金	実施状況	○
特殊詐欺対策装置購入費に対する補助金を継続するほか、補助金制度をより多くの市内在住高齢者に共有するため、高齢者が多く立ち寄るスーパーや金融機関、郵便局などの協力を得ながら、啓発を実施していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、豊橋市防犯協会連合会		

2 効果的な防犯情報の発信【再掲】	実施状況	○
様々な年代に適した発信方法として、例えば、若年層向けにはSNSや動画配信サイトなど、高齢者向けには新聞やラジオなどといった親しみのあるコンテンツを調査し、活用します。また、犯罪発生状況のみでなく、それぞれの対策なども加えることで、犯罪を未然に防ぐための有力な情報として発信していきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署		

3 「参加したくなる」防犯教育講座【再掲】	実施状況	○
児童～高齢者まで、それぞれの年代にわかりやすく解説する内容にするほか、笑いやゲームなどを取り入れることで、多くの人が“参加したくなる”講座を増やしていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、小・中・高等学校		

4 地域コミュニティを活用した防犯対策の実施	実施状況	○
地域のコミュニティへの参加を促す活動を関係機関と連携して実施していくとともに、地域のつながりを活用した防犯情報の共有や啓発活動を推進していきます。		
【実施機関等】 豊橋市		

5 地域住民とコミュニケーションをとることでの防犯対策の実施	実施状況	○
登下校時に家の前で見守り活動をすることで、近隣住民とのコミュニケーションをとる機会をつくり、不審者や窃盗犯への抑止力を強化するとともに、子どもを持つ近隣住民からの高齢者への声掛けなどで、同じく高齢者が巻き込まれやすい犯罪を抑制していくなど、お互いにとって安全に生活しやすい環境を整えていきます。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署		

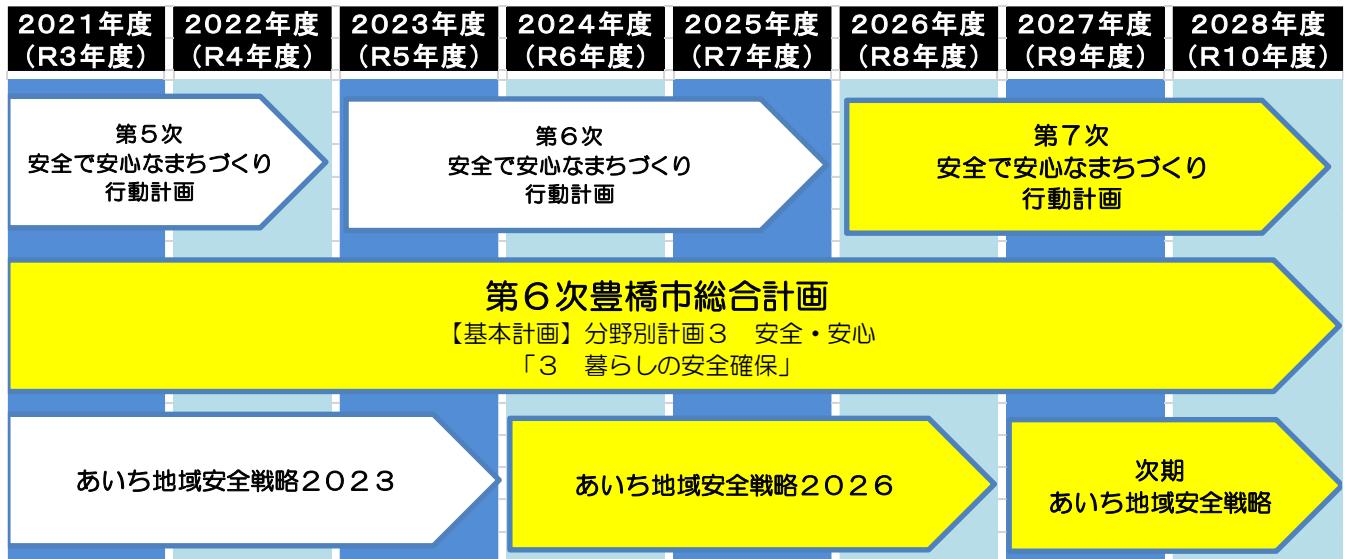
6 気軽な相談体制の構築【再掲】	実施状況	○
何か不安を感じた時にすぐに相談できる相手として、市の安全生活課や東三河広域連合消費生活課などを広く周知することで、被害を未然に防ぐ施策を強化します。		
【実施機関等】 豊橋市、豊橋警察署、東三河広域連合		

### ③第7次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画について

#### ①「第7次安全で安心なまちづくり行動計画」の期間

本計画は、令和8年度から令和10年度までの3年間を計画期間とします。

##### 〈計画期間〉



#### ②「第7次安全で安心なまちづくり行動計画」の位置づけ

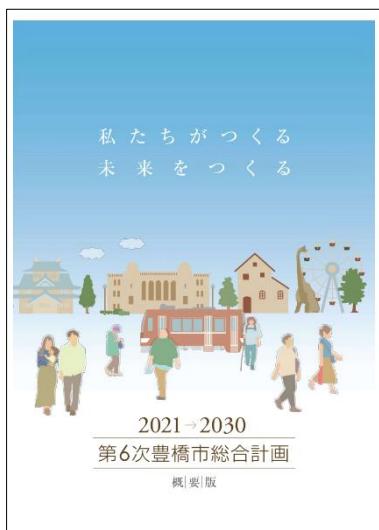
本計画は、豊橋市安全で安心なまちづくり推進条例第3条に基づき策定するもので、上位計画である豊橋市総合計画や各関連計画と整合及び連携を図りながら、各施策を推進していきます。

##### 【豊橋市安全で安心なまちづくり推進条例 第3条】

市長は、安全なまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に実施するための犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する行動計画（以下「行動計画」という。）を定めるものとする。

#### ◆第6次豊橋市総合計画

まちづくりの基本指針となる、目指すまちの姿の実現に向けた2021年度から10年間の取組を示すものです。SDGsの考え方を規範とし、まちづくりの基本理念『私たちがつくる 未来をつくる』を掲げています。



3 安全・安心

命の安全、  
心の安心が確保されたまち

大規模自然災害などへの備えを誰もが実践しているとともに、パンデミックなどの非常事態にも負けない、強靭で回復力のあるまちづくりを進めます。

1. 危機管理の強化と防災対策の推進
2. 消防・救急救命体制の充実
3. 喀らしの安全確保
4. 生活衛生の確保

## ◆あいち地域安全戦略2026

本県の総合計画である「あいちビジョン2030」（2020年11月策定）の個別計画として、ビジョンの趣旨を鑑み、「危機に強い安全・安心な地域づくり」に向けた具体的な取組の方向性を示すものです。「県民の誰もが安全で安心して暮らせる愛知」を目指す戦略で、期間は2024年度から2026年度の3年間です。

### ○目指す姿

「県民の誰もが安全で安心して暮らせる愛知」

### ○3つの目標

- 1 戰略期間中に刑法犯認知件数を再び減少に転じさせること
- 2 社会情勢に対応して良好な治安を確保すること
- 3 犯罪被害者等への支援を一層充実させること

### ○4つの基本戦略

#### I 防犯意識の醸成と地域防犯力の向上

- 地域防犯力の向上
- 防犯に対する県民の意識醸成・知識向上
- 事業者に対する経済安全保障に関する周知・啓発

#### II 犯罪の起きにくい社会づくり

- 規範意識の向上
- 再犯防止の取組推進
- 防犯性の高い住まい・まちづくりの推進
- サイバーセキュリティ対策の強化
- 複雑化・巧妙化する犯罪への対応と未然防止・拡大防止への取組推進

#### III 県民の安全・安心を脅かす犯罪への対策の推進

- サイバー事案への対応
- 暴力団対策の推進
- 県民の安全・安心を脅かす犯罪への対応
- 子供や女性、高齢者などを対象とする犯罪への対応

#### IV 犯罪被害者等に対する総合的かつ計画的な支援の実施

- 犯罪被害者等に対する支援体制等の充実・強化

## ④第7次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画の方針について【骨子（案）】

### ○基本方針

誰もが安全で安心して暮らせるまち「とよはし」

### ○2つの目標

- ① 市内の刑法犯罪発生件数を年間1,600件以下にすること
- ② 無施錠による盗難被害件数及び盗難被害件数に占める無施錠率を250件、55%以下にすること

### ○計画の基本となる4つの柱

- I 防犯意識の醸成
- II 地域防犯力の向上
- III 犯罪の起きにくい環境づくり
- IV 犯罪被害者等支援の推進

## 第7次豊橋市安全で安心なまちづくり行動計画策定にむけて(参考資料)

### 国の犯罪発生状況等のデータ

#### 【犯罪の発生件数等】

- ・刑法犯認知件数の総数については、平成14年の285万件をピークに、平成15年から令和3年まで一貫して減少してきたところ、令和6年は73万7,679件と、戦後最少の56万8,109件となった令和3年から3年連続で前年を上回った。

＜刑法犯認知件数の推移（R7.2 警察庁長官官房『令和6年の犯罪情勢』より）＞



#### 【窃盗】

- ・窃盗犯については、自転車盗（17万4,020件、前年比 6.0%増加）及び万引き（9万8,292件、前年比 5.5%増加）が大きく増加したほか、近年、組織的・広域的に金属盗や自動車盗、万引きが敢行され、盗品が海外へ不正に輸出されるなどの組織的窃盗・盗品流通事犯が発生している

#### 【詐欺被害】

- ・財産犯の被害額については、約4,021億円と前年比で 59.6%増加し、平成元年以来最も高かった平成14年の水準を大きく上回った。
- ・特殊詐欺の認知件数は2万987件、被害額は約722億円と、被害額が過去最多となった平成26年を大きく上回るなど厳しい情勢が続いているほか、SNSを使用した非対面型の投資詐欺やロマンス詐欺の被害も急増している。

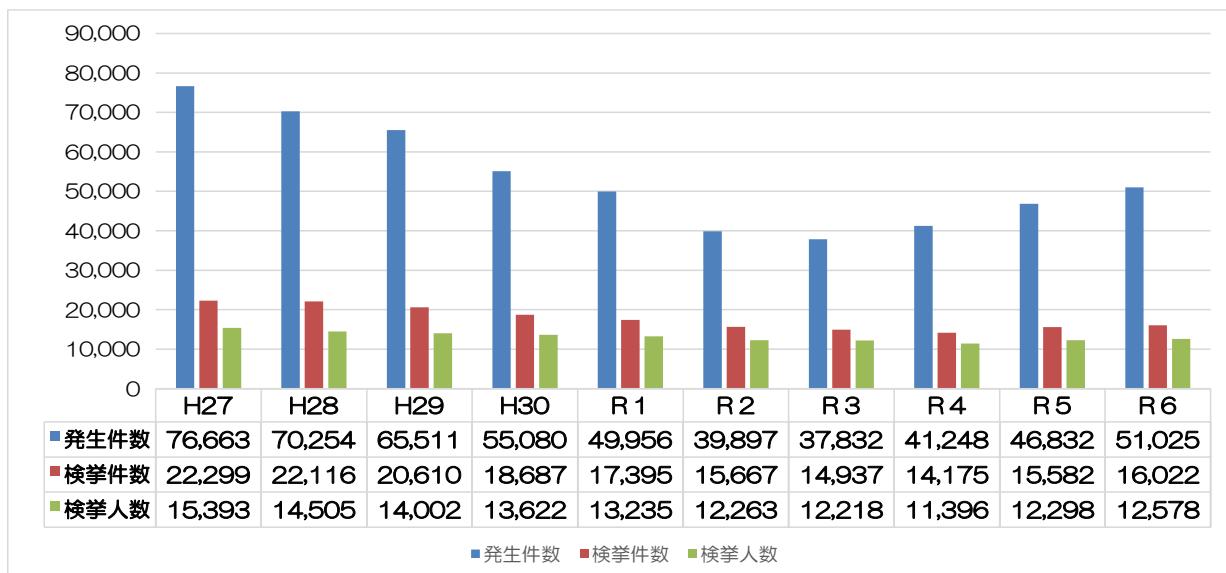
#### 【サイバー犯罪】

- ・インターネットバンキングに係る不正送金やクレジットカードの不正利用に使われるフィッシングの令和6年における報告件数は171万8,036件となり、前年比 43.6%増加となった。
- ・依然として高い水準で推移しているインターネットバンキングに係る不正送金事犯や、クレジットカードの不正利用事犯の中には、匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）が関与する事例も確認されている。
- ・また、SNSに起因する事犯の被害児童数は1,488人と、依然として高い水準にある。

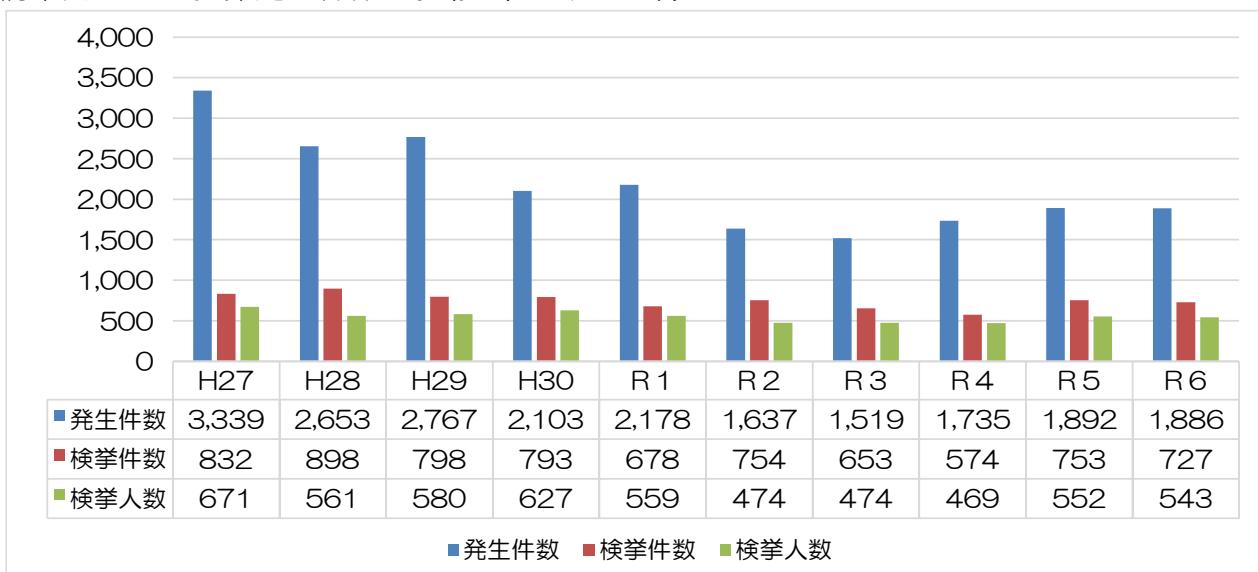
## 愛知県内・豊橋市内の犯罪発生状況等のデータ

### 【犯罪の発生件数等】

#### ①愛知県内の刑法犯罪発生件数の推移（過去10年）



#### ②豊橋市内の刑法犯罪発生件数の推移（過去10年）



#### ③豊橋市内の重点犯罪（街頭犯罪）発生件数（R7年上半期）

	R6上半期	R7上半期	増減（件）	増減（%）
侵入盗	72	48	△24	△33.3%
自動車盗	5	22	17	340.0%
車上ねらい	46	22	△24	△52.2%
部品ねらい	25	40	15	60.0%
自転車盗	210	135	△75	△35.7%
オートバイ盗	69	21	△48	△69.6%
総 数	427	288	△139	△32.6%

## 【特殊詐欺】

①愛知県と豊橋市における特殊詐欺による被害件数及び被害額の推移（過去5年）<単位：万円>

区分		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
		被害件数	被害額	被害件数	被害額	被害件数	被害額	被害件数	被害額	被害件数	被害額
オレオレ詐欺	市内	5	1,210	8	2,000	7	2,580	7	1,366	22	6,963
	県下	89	25,643	242	25,604	212	60,181	313	87,309	600	246,213
預貯金詐欺	市内	6	808	1	74	0	0	1	0	0	0
	県下	221	36,894	77	6,068	84	9,155	241	27,523	188	30,494
架空請求詐欺	市内	1	740	2	463	4	7,661	7	13,449	3	662
	県下	97	47,940	101	6,357	185	54,684	344	101,395	284	75,369
還付金詐欺	市内	1	49	1	63	0	0	5	484	12	3,456
	県下	25	3,631	210	6,980	204	22,113	198	22,990	202	30,199
キャッシュカード詐欺	市内	3	1,079	6	876	9	2,584	1	70	1	40
	県下	122	16,220	237	20,325	288	55,615	255	37,054	193	30,720
その他	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県下	15	4,325	7	1,487	7	1,154	6	1,535	2	2,503
計	市内	16	3,886	18	3,476	20	12,825	21	15,369	38	11,121
	県下	569	134,653	874	66,821	980	202,902	1,357	277,806	1,469	415,498

## 【不審者情報】

①豊橋市における不審者の発生状況の推移（過去5年）

発生年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発生件数	119件	117件	98件	106件	85件

## 【窃盗と無施錠率】

### ①愛知県と豊橋市の無施錠による盗難件数の推移（過去5年）

区分	令和2年			令和3年※2			令和4年			令和5年			令和6年			
	盗難件数	無施錠 盗難件数	無施錠率	盗難件数	無施錠 盗難件数	無施錠率	盗難件数	無施錠 盗難件数	無施錠率	盗難件数	無施錠 盗難件数	無施錠率	盗難件数	無施錠 盗難件数	無施錠率	
住宅対象侵入盗 ※1	市内	67	29	43.3%	68			54	25	46.3%	44	20	45.5%	48	22	45.8%
	県下	1,388	494	35.6%	1,007			1,062	312	29.4%	1,292	431	33.4%	1,235	384	31.1%
自動車盗	市内	7	4	57.1%	14	6	42.9%	7	2	28.6%	5	4	80.0%	16	3	18.8%
	県下	500	64	12.8%	745	72	9.7%	884	79	8.9%	698	98	14.0%	867	98	11.3%
オートバイ盗	市内	48	17	35.4%	18	1	5.6%	28	11	39.3%	60	11	18.3%	92	19	20.7%
	県下	559	89	15.9%	444	80	18.0%	571	138	24.2%	591	129	21.8%	823	252	30.6%
自転車盗	市内	290	214	73.8%	231	172	74.5%	360	264	73.3%	462	340	73.6%	473	356	75.3%
	県下	7,293	4,471	61.3%	7,058	4,492	63.6%	8,654	5,567	64.3%	11,234	7,182	63.9%	12,534	8,237	65.7%
車上ねらい	市内	90	51	56.7%	76			76	53	69.7%	67	52	77.6%	74	41	55.4%
	県下	1,828	1,058	57.9%	1,466			1,742	994	57.1%	1,419	1,010	71.2%	1,702	1,134	66.6%
計	市内	502	315	62.7%	407	179	68.1%	525	355	67.6%	638	427	66.9%	703	441	62.7%
	県下	11,568	6,176	53.4%	10,720	4,644	56.3%	12,913	7,090	54.9%	15,234	8,850	58.1%	17,161	10,105	58.9%
差				9.4%	差			11.7%	差			12.7%	差			8.8%
																差 3.8%

※1 住宅対象侵入盗とは空き巣・忍び込み・居空きをいう

※2 システム変更により、住宅対象侵入盗と車上ねらいの無施錠件数の集計ができないため、無施錠率については【自動車盗、オートバイ盗、自転車盗】の3項目で算出している。

### ②愛知県と豊橋市の無施錠による盗難件数（令和7年上半期）

罪名	区分	盗難件数	無施錠での 盗難件数※	無施錠率	県と市の 対比
住宅対象侵入盗 豊橋市 県下 9位	市内	24	11	45.8%	15.9%
	県下	665	199	29.9%	
自動車盗 豊橋市 県下 10位	市内	22	6	27.3%	18.7%
	県下	639	55	8.6%	
オートバイ盗 豊橋市 県下 5位	市内	21	4	19.0%	-10.4%
	県下	512	151	29.5%	
自転車盗 豊橋市 県下 20位	市内	135	103	76.3%	11.2%
	県下	5,758	3,751	65.1%	
車上ねらい 豊橋市 県下 16位	市内	22	20	90.9%	25.0%
	県下	872	575	65.9%	

※自動車及びオートバイはキー付状態が無防備のため無施錠に相当

※住宅対象侵入盗とは空き巣・忍び込み・居空きをいう

市内件数合計	224	市内無施錠 件数合計	144	市内無施錠率	64.3%
県下件数合計	8,446	県下無施錠 件数合計	4,731	県下無施錠率	56.0%

## 豊橋市の令和6年度実施事業等のデータ

### ①防犯教育講座の実施

- ・子どもや高齢者など、様々な世代を対象に防犯教育講座を開催した。
- ・令和6年度より、特殊詐欺対策について落語を通じて学ぶ講座を新たに実施した。

区分	令和5年度	R6年度
実施回数	120回	126回
参加人数	16,918人	14,621人

### ②自主防犯団体等への支援

- ・「子ども見まもり隊」や「青パト隊」、自治会での防犯活動に対してパトロール物品を配付、貸出。
- ・令和6年度より、日常生活（散歩、清掃など）の中で防犯の視点を持って活動を行う「ながら防犯」を実施するための被服等の配布を始め、令和7年度にも配布を実施し、8月末時点で新たに123名が活動に参加した。

区分	構成	R5年度	R6年度
子ども見守り隊	市内全小学校区 52団体	3,418人	3,176人
青パト隊	市内19小学校区 17団体	1,179人	1,112人
ながら防犯	市内在住・在勤者	—	111人

### ③防犯カメラ等の設置推進

- ・地域防犯力向上のため、令和5年度までは自治会が防犯カメラ及びカメラ付きLED防犯灯を設置するための費用に対する補助を実施していた。
- ・令和6年度からは、4年間で1,000台を目標に市が主体となって防犯カメラの設置を推進することとし、警察などと協議をしながら、市内の主要交差点や通学路などへの設置を進め、犯罪の発生抑止に取り組んでいる。

#### ＜防犯カメラの設置状況＞

区分	R5年度（補助）	R6年度（市設置）
設置台数	32台	250台

### ④広報啓発活動

- ・広報とよはし、ホームページ、ラジオ、ケーブルテレビなどの活用
- ・チラシの組回覧　　・街頭での啓発（青パトによる巡回及び広報啓発など）
- ・情報システム「豊橋ほっとメール」で防犯情報等の配信  
(令和6年度末の配信希望者数35,687人)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
防犯情報	110件	114件	140件
消費生活注意喚起情報	1件	5件	2件